

「現地を訪問して想うこと」

佐藤 貴文(2014・情報理工)

私は、この東北応援ツアーに参加するまで東北に行ったことがなかった。

そのため、関東大震災が起こった時も同じ日本で起こっている出来事とは到底思うことができなかった。

その後、テレビやインターネットで東北地方に対する風評被害もいくつか目にしたが、私は自分の目で見たことしか信じないと決めていたので、いつか実際に現地に訪れて自分の目で確かめたいとずっと思っていた。

しかし、テレビやインターネットを通して伝わる情報から、「現地に訪れることは復興の妨げになるのではないだろうか…」と考えるようになってしまい、なかなか足を運ぶことができなかった。

私は、交通機関のトラブルにより途中からの参加となったが、宮城県に訪れることができたことを本当に良かった。

また、復興が進んでいると言われているがまだまだ途中である現実を自分の目で確かめることができたことも非常に良かった。

私が懸念していた「復興の妨げになる」ことに対して、震災に関するお話をお聞かせいただいた佐々木夫妻が、「復興の妨げになることはないので、東北地方へ訪れて欲しい」と仰っていたことが非常に心に残りました。

これから、東北地方にも定期的に訪れ、また東北産の物を買うことにより直接現地に訪れることだけではない復興支援もしたいと考えている。